

社会問題と向き合うことを通して、思考力と実行力を身に付ける

PROGRAM

OSIP 6年間の学び

メディアから流れてきた情報によって知る社会課題は、どこか他人事のように聞こえてしまう。社会の無関心によって社会課題は解決されない。

OSIP(Oizumi Social Innovation Program)では、社会課題の現場に行くことを重視している。景色、匂い、音、空気感、味覚、当事者の声等の五感を通して理解する。誰かの課題から話を伺った〇〇さんの課題に変えていく。理解したことやデータを踏まえて、社会課題の原因を分析し、解決策を考え、実行していく。原因が複雑に絡み合った社会課題と向き合うことを通して、問題解決能力を身につけていく。

I 年生 | II 年生 | III 年生 | 1 年生 | 2 年生 | 3 年生→実社会へ

6年間を貫く問い：平和で民主的な国際社会を実現するために、私たちはどうしていくべきなのだろうか？

課題 地域活性化と SDGs

練馬区をより住みやすいまちにしていこうためにはどうしたらよいか

練馬区
浅草・上野
探究遠足

BritishHills
(福島)



学校周辺をフィールドワークする活動から始まり、練馬区の課題を発見し解決策を考える個人探究、練馬区へ提言を考える「大泉会議」を通してよりよいまちづくりを考える。

課題 経済と伝統文化

日本の技術や伝統文化を世界に売り込んでいくためにはどうしたらよいか

都内
大阪・京都
研修旅行

TGG
(東京)



大阪の中小企業の工場見学を通して日本がイノベーションを起こす可能性や、SDGs 先進都市である京都における伝統文化財と観光・経済の調和を探る。

課題 平和と国際協調

世界の人々に沖縄の「何」を伝えたらよいか

都内
沖縄修学旅行

New Zealand
語学研修*



自然豊かな沖縄をフィールドに自然体験や、平和学習として「がま」へ入ったり、沖縄の基地の見学などをしたりすることを通して、これからの国際協調の在り方を探究する。

課題 科学技術と地方創生

震災の経験から、何を学び、未来へ活かしていくべきか。

福島
探究合宿

Australia
語学研修*



資源・エネルギー、果物等の観光資源、歴史、防災等の視点から、今の Fukushima を見つめ、災害の多い日本の未来と地方社会のあるべき姿を探究する。

課題 多様性とアジアの課題

平和で民主的な国際社会を実現するために、私たちはどうしていくべきなのだろうか。

海外
修学旅行



5年間の集大成として海外を訪れ、英語での国際交流を通して、平和の大切さや政治・経済体制、異文化を理解し、アジアの架け橋となる人材の資質・能力を身につける。

第一志望の日本の大学や海外の大学への進学
国際社会でリーダーとして活躍

GE-NET
20

※希望者のみ。

課題発掘セミナーの講師
中学校では1学期に1〜2回程度外部から講師を招き、講演会等のセミナーを行なっている。以下昨年度の講師一覧であるが、現在 SI に取り組む豪華講師陣である。アクセント株式会社 ワーカーズコープ カタリバ issue+design リディラバ ポーダレスジャパン(敬称略)

accenture
Ridilover
BORDERLESS
issue+design

OSIP に関するデータ

	自分は大人だと思う (単位: %)	自分の行動で国や社会を変えられると思う	社会に役立つことをしたいと思う
日本	27.3	6位 26.9	6位 61.7
アメリカ	85.7	58.5	73.0
イギリス	85.9	1位 50.6	71.2
中国	71.0	70.9	82.1
韓国	46.7	61.5	75.2
インド	83.7	78.9	1位 92.6

図 自身と社会の関わりに関する 18 歳の意識 (出典 日本財団 18 歳意識調査)

自身と社会の関わりについて、以下の全ての項目で日本は 6 カ国中最下位となった。特に「自分は大人だと思う」「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」が、それぞれ 3 割に満たず、他の国に差をつけて低い。

2000		2010		2021	
順位	国名	順位	国名	順位	国名
1	ルクセンブルク	1	ルクセンブルク	1	ルクセンブルク
2	日本	2	ノルウェー	2	アイルランド
3	ノルウェー	3	スイス	3	スイス
4	スイス	12	アイルランド	4	ノルウェー
5	米国	13	米国	5	シンガポール
11	イギリス	15	シンガポール	6	米国
14	アイルランド	18	日本	18	ドイツ
19	ドイツ	21	ドイツ	22	イギリス
20	シンガポール	22	フランス	23	フランス
21	フランス	23	イギリス	28	日本

図 一人当たりの名目 GDP

Apple、(米)、Samsung (韓)、Xiaomi (中)、Huawei (中)、Oppo (中)。上記は、モバイル機種シェアのトップ5である。日本はこの20年、新しく大きな産業を生み出すことができずと言われている。そのため GDP も低迷し続け、日本でのイノベーションが求められる。(出典 IMF-World Economic Outlook Databases)



図 SDGs

SDGs(持続可能な開発目標)17の世界的目標、169の達成基準、232の指標からなる持続可能な開発のための国際的な開発目標であり、2030年までの具体的指針である。本校は、SDGsに対して本SIPを実施することで、取り組んでいく。

OSIP に関する Q&A

- Q どのような力が身に付きますか？**

A 日本や世界の歴史や文化の多様性を理解したうえで、社会と個人の well-being (幸せ) を実現するための様々な課題を発見・吟味し、解決することのできる資質・能力を育成します。
- Q 大学入試との関係性はありますか？**

A 近年の大学入試において、教科の学習だけではなく、探究活動の成果などを重視する総合型選抜や学校推薦型選抜等を実施する大学が増えています。そのため、学校生活で、「どのような経験」をしたかということがますます重要になってきます。
- Q 費用はどれくらいかかりますか？**

A 学年積立金を使用して支払いますので、毎月少しずつ徴収致します。全員参加のプログラム費用の5年間の総額は約50万円になります。
- Q どのような生徒が向いていますか？**

A 社会課題について興味がある方はもちろん、興味がない方だからこそぜひ本校に入学し、取り組んでほしいプログラムになります。

終わらせることは

できるだろうか。

戦争、貧困問題、差別、労働問題、
エネルギー問題、食糧危機、地球温暖化。
この世界には、社会課題が溢れている。

社会課題なんて興味ない？社会課題なんて解決できない？

たしかに、社会課題に向き合わなくても明日はやって来るだろう。

でも、見えない世界を見てほしい。
50年後の未来の日本や世界のことを。
今も苦しみ、声をあげられない人々のことを。
もしかしたら当事者になるかもしれない
あなたとあなたにとって大切な人の未来を。

社会課題と向き合い Wellbeing を実現する人材を育成するのが、
「OSIP (大泉ソーシャルイノベーションプログラム)」です。

“私たちは、微力だけど無力ではない。”

大 泉 附 属
こ 合 考 向 方
社 会 課 題

Ohizumi Social Innovation Program

社会課題を

私たちの世代で